定数⑩—11 届け出順

74 無現④ 農業元副議長▽梨本

53 無現① 工務店経営元町消防団分団長▽見高

渡辺 昌昭 64 無現① 農業元町農業経営振興会長▽大鍋

上村 和正 56 無現② 議長、ホテル専務▽梨本

鈴木 篤 64 無新 民泊経営元県職員▽見高

北島 正男 69 無新 介護士元広告会社社員▽見高

渡辺 弘 74 無現③ 元物産会社役員、副議長▽谷津

次ぐ
大巡り

施設跡地に公益施設や防どを検討してた。

氏（無所属）費増大を踏まて高架化の是住民投票をす

べきとただした。頼重秀一市長は高架化が市長選などの結果を踏まえて進められたとし、「住民投票を実施する考えはない」との認識を示した。

同日は県市議会議長会長を務める浅原和美議長が、安倍晋三元首相の国葬に出席したため、長田吉信副議長が議事を務めた。（東部総局・尾藤旭）

別避難計画 沼津市答弁

人一人の避難とめた「個別」について、

門池地区をモデル地区とし、自治会などと連携して先行作成していると説明した。小泉宣子氏（公明党）への答弁。

個別避難計画は昨年の災害対策基本法改正で、作成が自治体の努力義務となった。市によると、市が把握する要介護の高齢者や障害者は8766人で、このうち自治会などへの情報提供に同意したのは2488人（いずれも4月1日現在）。

市は今後、避難計画の策定を市全域に広げていく方針。

三島市答弁

大場地区農地の都市整備
税収効果「大きな期待」

三島市は27日、同市大場地区の農地を市街化区域に編入して都市的なまちづくりを進める区画整理事業について、農地10㌶が宅地化されれば20万円程度の固定資産税が数千万円程度に増額されるとし、進出企業の設備投資や市民法人税の加算も含めた税収効果に「大きな期待」を示した。市議会9月定例会の一般質問で、土屋利絵氏（改革みしま）に答えた。

事業用地は三島南高の南側に広がる田んぼなど約10㌶で、東名沼津インターチェンジに直結する東駿河湾環状道路にも近い好立地。市は答弁で、既に大手企業を含む数社から進出を希望する意向を受けている状況も明かした。基本構想案と地権者の意向を本年度中に整理し、来年度末までに進出企業のニーズをとりまとめる方針。

地権者の高齢化が進む同地区では農業の維持が難しく、地元からもまちづくりの支援を求める要望書が市に提出されている。一方、農振農用地（青地）の土地利用は農地法の厳しい規制を受けるため、都市開発には法規制の適用除外と市街化区域への編入手続きが必要になる。今後、民間による準備組合を立ち上げて事業を進める方針で、市も「全面的に支援する」との考えを示した。

同日はこのほか、大石一太郎（改革みしま）、鈴木文子（公明）、服部正平（共産）の3氏も登壇した。

低所得世帯に
緊急支援5万円

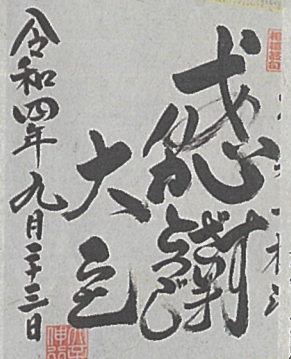
函南町 価格高騰受け

函南町は27日の定例記者会見で、電力やガス、食料品などの価格高騰の影響を受けやすい低所得世帯に対して5万円の緊急支援給付金を支給する考えを示した。関連費用の2億1300万円は全て国費を財源に充て、10月5日の町議会9月定例会に補正予算案を提出する。

対象は本年度の住民税が非課税か、1～12月に家計が急変して世帯収入が非課税相当になるなどの条件を満たす約4千世帯を想定している。11月から確認書を対象世帯にそれぞれ送付し、来年1月末までに提出してもらう。確認でき次

型コロナウイルス感染症＜電話相談窓口＞

静岡市・浜松市以外にお住まいの方「静岡県発熱等受診相談センター」		
平日午前8時半～午後5時15分 050-5371-0561 050-5371-0562		左記以外の時間 050-5371-0561
静岡市にお住まいの方		
午前9時～午後8時（毎日）「静岡市新型コロナなんでも相談ダイヤル」 0570-080567		左記以外の時間（毎日）「静岡市発熱等受診相談センター」 054-249-2221
浜松市にお住まいの方		
「浜松市新型コロナコールセンター」※音声ガイダンスで「1」を選択		毎日・24時間 0120-368-567
ワクチン接種反応相談窓口	午前9時～午後10時	050-5445-2369
庁専用相談ダイヤル	平日午前8時半～午後5時15分	054-221-8560
言語相談ホットライン	24時間対応	0120-997479
中小企業等相談	平日午前8時半～午後5時15分 金融支援	054-221-2525
	経営	054-221-2806
水産物業者等相談	平日午前8時半～午後5時15分 水産加工業	054-221-2658
	漁業	054-221-2744
	金融	054-221-2694
岡労働局別労働相談	平日午前9時半～正午、午後1時～5時	054-252-1212
松労働基準督署総合労働相談	平日午前9時半～正午、午後1時～5時	053-541-7488



地方ノート

○…元力士でタレントの大至さんの相撲甚句を聞く会がこのほど、沼津市であった。大至さんは、現役時代はファンや後援会、引退後はそれまで培ってきた人脈で仕事に恵まれ、「常に周囲への感謝を忘れない」と歌声に乗せて思いを披露した。

○…当日は30人ほどが参加。大至さんお手製のちゃんこを食しながら、地元有志や長年の支援者らが親交を深めた。角界の裏話も聞かせてくれ、和やかな雰囲気に包まれた。

○…抽選で当たった参加者に、「感謝」の文字を平仮名の「ありがとう」で表現した大至さん直筆の色紙＝写真＝が贈られた。大至さんの生きざまが込められ、色紙を手にした参加者は「色紙とともに私も」

ただ、半旗掲揚の方針は前日夕刻まで決まらなかった。斉藤市長は「国からの要請が

討を鋭意進めている。遅くとも年内には出したい」と述べるにとどめた。

運管担当者は一ずはどのような候補者がいるか、自分の考

る投票箱や記意し、同校の立会人も設定

模擬

安

に支援物資渡す松崎町員＝川根本